

図書館エッセイ

「七夕のねがい」



尾鷲市立図書館協議会委員 山本 伸子

「五色の短冊、私が書いた、お星さまキラキラ、空から見てる」。この季節になると思い出されるのは、子どもたちがお世話になった保育園での夏祭りや七夕飾り。下の子が卒園して10年以上経ちましたが、今もあるのでしょうか？大きな笹に、子どもたちが作った折り紙飾りや、色とりどりの短冊が揺れていました。「トーマスに乗れますように」「仮面ライダーになれますように」「プリキュアになれますように」と、可愛い願いがたくさん飾り付けられていて、我が子やお友達の短冊を探して見るのが楽しみでした。

七夕といえば、織姫と彦星が7月7日の夜、一年に一度会えるということだけは覚えているものの、あれ、どんな話だったっけ？懐かしく絵本を借りて読んでみると驚きが・・・。

織姫は星の神様のひとり娘で、休むことなく機を織り神様たちの着物を作っています。そんな娘を可哀想に思った神様は、婿を探すことにし、まじめで働き者の牛飼いを選びました。二人は出会った途端に恋に落ち結婚。あれほど働き者だった二人が、恋した途端に遊んでばかりで、注意されても改心せず、ついに怒った神様に天の川の西と東に引き離されてしまう。しかし、今度は悲しみのあまり働けない。困り果てた神様は、もとのように働くのなら、年に一度だけ逢えるようにしてやると約束。それから二人は、そのことを楽しみに懸命に働き、7月7日の夜に天の川を渡って逢える。

えー、そうだったの。彦星は、織姫のお父さんに見初められたんですね。年に一度しか逢わせないなんて、お父さん厳しすぎではないですか。初恋ですよ。舞い上がりますよ。せめて月に一度になりませんかとお願いであげたくります。織姫と彦星にも、好きな人と一緒にいるからこそ、仕事も頑張らんかいいつとりたいですが。(笑)

絵本の巻末情報によると、七夕は、日本の「棚機女」という行事に、中国から伝わった「乞巧奠」と伝説が合わさったものらしいです。織姫にあやかり裁縫が上達するようにとの祈りから、芸事、文字などの上達を願う行事に発展、願い事もバラエティーに富むようになったのだとか。

さて、子どもたちが大きくなった今、我家での七夕飾りは作りませんが、7月7日の夜には空を見上げてお願い事をしなくては。

星の神様、どうか今年も織姫と彦星を逢わせてあげてください！

それと、クックパッドに頼りっぱなしの私の料理が上達しますように・・・



中学生職場体験レポート

6月8日・9日の2日間、尾鷲中学校2年生3名が職場体験学習で図書館の仕事を体験しました。窓口業務や、館内の整理整頓、本の登録・整備、相互貸借業務など積極的に取り組んでくれました。最後は、自分たちのおすすめの本の紹介文（ポップ）を書き、展示しました。素敵なコーナーが出来上がりましたよ。皆さんどうぞ図書館を訪れてご覧ください。



2023		7					July	
月	火	水	木	金	土	日		
					1	2		
3	4	5	6	7	8	9		
10	11	12	13	14	15	16		
17	18	19	20	21	22	23		
24	25	26	27	28	29	30		
31								

2023		8					August	
月	火	水	木	金	土	日		
	1	2	3	4	5	6		
7	8	9	10	11	12	13		
14	15	16	17	18	19	20		
21	22	23	24	25	26	27		
28	29	30	31					

2023		9					September	
月	火	水	木	金	土	日		
				1	2	3		
4	5	6	7	8	9	10		
11	12	13	14	15	16	17		
18	19	20	21	22	23	24		
25	26	27	28	29	30			

■ は休館日、薄い色 は祝日

おはなし会の予定

★おはなしだっこ【赤ちゃん対象】
第1木曜日 10:30～

★おはなしのひろば【幼児対象】
毎週土曜日 11:00～11:30
(ただし第5週はお休みです)

尾鷲市立図書館 (〒519-3616 三重県尾鷲市中村町 10-41)

開館時間 火～金 9:30～19:00 / 土日祝 9:30～17:00

休館日 月曜日・月末 ※月曜日が祝日の場合は翌日休館

年末年始・蔵書点検期間 月末が土日の場合は直前の金曜日休館

電話番号 0597-23-8282 FAX 0597-23-8283

図書館 HP <https://ilisod003.apsel.jp/owase-library/>



図書館だより 2023年2号

つみくさ

あなたは海派？
それとも山派？

夏はレジャーだ！と、あなたが出かけたくなるのは、海ですか？それとも山ですか？どちらも魅力にあふれていますね。今回は、海と山それぞれの本を紹介していきたいと思います。旅行やキャンプ、海や山が舞台になった小説など、インドア派の方々でも読めばきっと行ってみたいくなりますよ。



『海に癒される。働く大人のための「海時間」のススメ』
高橋 啓介・清水 浩史/著
草思社

素足で浜を歩いてみる、波に巻かれてみる、沖から陸を眺める、海鳥を観察する、海で仕事のことを考えてみる…。心が洗われ、明日への力が湧いてくる、大人のための海の楽しみ方を紹介します。



『小屋番三六五日 人と自然と山仕事、山小屋暮らしとっておきの五十五話 山小屋からの便り』
山と溪谷社

山を住処とし、山を仕事場とする、小屋番たちからの便り。自然豊かな山小屋の四季から歴史、個性的な登山客、遭難救助まで、山小屋の主たちが語る。



《目次》

・あなたは海派？それとも山派？
・図書館利用者さんの「これ読んでみまー！」
・図書館エッセイ…山本伸子さん

・海と山あなたはどっち？
・「ねえねえ知ってる？」…尾鷲の山と海
・3ヶ月ランキング
・中学生職場体験レポート



『逆ソクラテス』(伊坂 幸太郎/著、集英社)
逆転劇なるか!? カンニングから始まったその作戦は、クラスメイトを巻き込み、思いもよらぬ結末を迎える「逆ソクラテス」をはじめ、小学生が主人公の5編の珠玉の短編集。

読んでいて、自分も子どもの頃、大人や教師に対して色々思うことがあったなあと思い出しました。大声で叱りつける先生に対して、子ども目線でどう感じているかがリアルに描かれているのが良かったです。今後、子どもとどうかかわっていくか考えさせられる1冊です。

T・Y (20代・男性)



『クヌギ林のザワザワ荘』
(富安陽子/作・安永麻紀/絵 あかね書房)
空飛ぶ雲を研究している科学者の矢鳴先生。アパートを追われ、転居先を探していると、「猫股不動産」という怪しげな不動産屋にザワザワ荘を紹介されます。そこは妖怪たちの住む、不思議だけどあたたかいアパートでした。

もう何十年と前、私が小6の頃買ってもらった1冊で、ずっと私の愛読書です。辛いことや乗りこえるのが難しい…と感じる出来事に出会うと この本を読みたくくなります。負の感情もやさしく受け止めてくれる矢鳴先生と、妖怪たちの友情に心がほんわり、ほどけるような感覚になるのです。遺伝(!?)なのか、最近妖怪が大ブームの5歳の娘にも(もちろん息子にも)いつか読んでほしいなと願っています。

いぶゆづ母ちゃん (40代・女性)



『HIKARUNOGO』(コミック「ヒカルの碁」英語版)
運動が好きな小学6年生の進藤ヒカルは、祖父の家で古い碁盤を見つけ、その碁盤に宿っていた平安時代の天才棋士・藤原佐為(ふじわらのさい)の霊に取りつかれる。佐為にせがまれ碁を打ち始めたヒカルは碁の面白さに目覚め、「神の一手」を極めるため努力し成長していく物語。

受験期、苦手だった英語をこの漫画で克服しました。読む中で、英語圏でよく使われる英文法に慣れられるので、楽しく勉強したい人におすすめです。また主人公のヒカルが、偶然出会った碁碁を通して成長・自立していくところが僕は好きです。

H.Yさん (20代 男性)

海と山 あなたはどっち?

挑戦するなら



『はじめてのサーフィン』
H.L.N.A/監修 成美堂出版
女性でも、高齢者でも始められる!サーフィンの基礎知識からパドリング、テイクオフ、ロングライディングまで、連続写真やイラストを使ってわかりやすく解説。ありがたい間違い、難しい動きの練習方法や簡単なやり方、Q&Aなども掲載。



『鈴木みきの富士登山ご案内』
鈴木 みき/著 イースト・プレス
標高 3776m。一生に一度は登ってみたい日本の山・富士山。女子登山の火付け役の漫画家が初めての富士登山を全力でサポート。富士登山の予備知識から登山ルート、装備、実際の富士登山までコミックエッセイで紹介。

キャンプするなら



『キャンプと楽しむ釣り入門』
つり人社書籍編集部/編 つり人社
釣りと一緒に楽しめば、お得がいっぱい!初心者でもできる、海だけでなく、溪流や湖での釣りと、キャンプの楽しみ方を伝授します。釣った魚のおすすめキャンプ飯も掲載。



『ヒロシのソロキャンプ』
ヒロシ/著 学研プラス
好みのキャンプ場が見つからないので、山を買ってしまったというソロキャンパー芸人・ヒロシの全キャンプギアを公開。さらに、キャンプ場選び、サイト設営、水の調達や炊飯といった、キャンプの実践を解説します。

テートするなら



『船旅デート』
イカロス出版
気軽にでかけられる小さな船旅や、雰囲気満点の船上ごはん、船で体験する冒険ツアーなどを紹介。ちょっとデータは古いですが、いろいろな船の楽しみ方が載っていて、参考になりますよ。



『ときめくヤマノボリ図鑑』
池田 菜津美/文 西田 省三/写真 山と溪谷社
山で出会える美しい風景や動植物といった「ときめく」事象をはじめ、日本の山に関する雑学や百名山・花の百名山、山で使う道具や登山スタイルなどを紹介する。

小説よむなら



『海とジイ』
藤岡 陽子/著 小学館
舞台は、美しくもありときに恐ろしい顔を見せる海と島。3人のおじいさん=ジイの生き抜く姿と、そのジイから思いを受け取る人々の心模様をときに温かく、ときにいきいきと、ときに静かな筆致で描ききった全3編の物語。



『山女日記』
湊 かなえ/著 幻冬舎
私の選択は、間違っていたのですか。悩める7人の胸に去来するのは。誰にも言えない苦い思いを抱いて、女たちは、一步一步、頂を目指す。新しい景色が小さな答えをくれる連作長編。



『海のイカロス』
大門 剛明/著 光文社
潮流発電の研究をしている正岡周平。彼の心には、資金難による研究の行き詰まりで命を絶った女性の面影が棲み続けた。そして、彼女の死の本当の原因がわかったとき、哀しみと怒りが塗り込められた犯罪計画が動き始め…。



『クライマーズ・ハイ』
横山 秀夫/著 文芸春秋
男には、乗り越えねばならない山がある。1985年、御巢鷹山の日航機事故で運命を翻弄された地元新聞記者たちの濃密な一週間を描いた本格長編小説。ドラマ化、映画化もされた名作です。

絵本よむなら



『プラスチックのうみ』
シゲル ロード/作 ジュリア プラットマン/絵 川上 拓士/訳 磯辺 篤彦/監修 小学館
人間が出したプラスチックごみ。それは、どのように海を汚し、海に暮らす生き物に影響を及ぼしているのか。きれいな海を取り戻すにはどうしたらいいのか。美しいイラストとともに、わかりやすい言葉で伝える。



『わたしのやま』
ワシワシ ベノ/作 ジェロム ベラ/絵 谷川 俊太郎/訳 世界文化社
ここがわたしのやま。わたしはここにすみ、ここでねむり、ここでたべる…。<いのち>の眼で見れば、人間も狼も立場は同じ。ふたりの主人公によって語られる全く同じ物語を、ふたつの解釈で描く。両サイドから読める絵本。

ねえねえ知ってる?

尾鷲の山と海

★山の高さ
尾鷲の山といえば八鬼山!高さは647m。天狗倉山は522m、便石山は599mなので、八鬼山が尾鷲で一番高い山だと思っていたら、なんと尾鷲市最高峰は竜辻山(尾鷲市と紀北町、奈良県の境にある)で1260mなんだそうです。

★海の深さ
海洋深層水を取水している古江の沖は水深415m。ちなみに尾鷲湾の最大水深は58mなので、深層水の取水口はかなり深いことがわかりますね!

3ヶ月ランキング

1位 2023年4月~6月です
『とりどりみどり』西條 奈加/著 祥伝社
万両店の廻船問屋の末弟・鷺之介は、年齢11にして悩みが付きない。その元凶は、かしましい3人の姉。姉たちに付き合うと、なぜかいつもその先方で事件が発生し…。

1位 『署長シンドローム』今野 敏/著 講談社
2位 『審議官』今野 敏/著 新潮社